

| 特集1 | 山梨大と北里大が連携 微生物活用で新薬創出へ  
新組織

## 「大村記念微生物資源研究フロウティラ」発足

| 特集2 | 令和7年度スタート!

## 「全学共通教育科目」の新カリキュラム

| 人物発掘 | 大学院 総合研究部 教育学域 人間科学系  
芸術身体教育講座 堀口 文 准教授

| ゼミ紹介 | 医学部 皮膚科学講座

| pick up Lesson | 食物学概論

| クローズアップビープル | 志村 優太 (生命環境学部環境科学科 4年)

玉井 志穂 (工学部機械工学科 4年)

| サークル紹介 | 撞球部(ビリヤード) ギタークラブ  
アイスホッケー部 救急医療サークル 富士救

| UNIVERSITY OF YAMANASHI NEWS&TOPICS |

新組織

# 大村記念微生物資源研究フロウティラ 発足

## 山梨大学の強み・特色を生かした新しい研究組織

微生物資源を活用して創薬研究を行う組織です。「創薬」という目標に向けて、山梨大学の各分野の研究者が結集し、さらに北里大学とも連携して研究を推進します。山梨大学卒業生で、2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智山梨大学特別荣誉博士が特別顧問を務めています。令和6年4月1日から活動を開始、令和6年6月3日に開所式を行いました。



開所式の様子 大村智特別荣誉博士(左)、中村和彦本学学長(右)

## 設置背景と研究テーマ

微生物は35億年前から地球上に生息し、これまでに実体のわかっている微生物はほんの一部で、大部分の微生物が未知の資源として眠っています。その中には、すばらしい能力を持ち人類にとって有用な物質を産生するものがあるに違いありません。山梨大学の微生物研究の歴史は古く、特に放線菌の研究には定評があり、多くの貴重な放線菌株が保存されています。山梨大学が持つ希少放線菌を分離し培養する技術と、北里大学が企業などと共同で医薬品を開発してきた知見を活用して新薬の開発研究を行います。代表的な研究テーマとしては「薬剤耐性菌を殺す新規生理活性物質を産生する微生物の探索」を掲げています。つまり、新規抗菌薬の開発を目指します。



## 担当教員の山村先生にインタビュー！

### 放線菌ってなに？

私たちの研究室では、放線菌という微生物を扱っています。この放線菌は抗生物質などを産生することが知られています。例えば、抗結核薬であるストレプトマイシンや大村智博士が発見した抗寄生虫薬であるエバーメクチンは、既に世界中の多くの人の命を救っています。

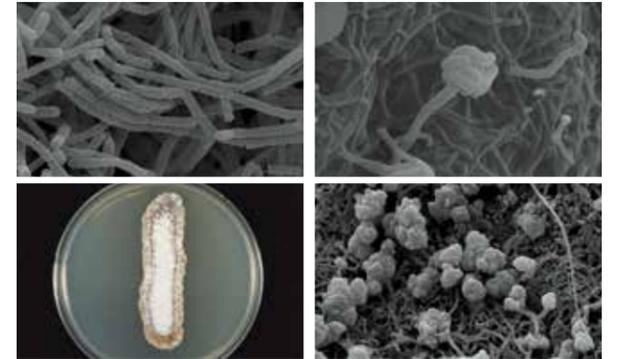
放線菌は自然界の至る所に生息しており、特に土壌中には多種多様な放線菌が生息しています。この中から、新規の放線菌を見つけることができれば、その生命現象やゲノム情報、代謝産物の研究によって、新たな抗生物質などの発見に繋がる可能性があります。

しかし、よく取れる放線菌は他の研究者によって既に研究されている可能性が高く、何かしら珍しい放線菌を取るための工夫「選択分離法」が必要になります。そこで、自然環境中にごく僅かしか存在しない希少放線菌を選択的に分離する技術開発に力を入れています。また、山梨県には自然豊かな環境があり、放線菌を分離するための試料に容易にアクセスできるため、放線菌の研究をする上での立地は他にない魅力です。

現在、私たちが集めた放線菌は世界的にも類を見ない貴重な放線菌を含む、約4,000株以上の放線菌ライブラリーを保有しています。



放線菌ライブラリー



放線菌コロニーとその電子顕微鏡写真

### 放線菌ライブラリーの使命とは？

私たちが集めた放線菌ライブラリーには大きな使命があります。現在、地球規模課題となっている「薬剤耐性菌」の特効薬になるような化合物を見つけないかと考えています。さらに創薬に関わる山梨大・北里大の特異な研究者を有機的に融合した研究体制を構築し、新しい医薬品の開発拠点を形成したいと考えています。

将来、放線菌は現代社会を支えるインフラ微生物として社会的に重要なリソースとなると予想されます。その時に多種多様な放線菌を保有している者が次世代の舵を握れるかもしれません。幸い、両大学には微生物学や化学、創薬の専門家が最先端の研究を行っています。私たちは専門家の協力を得ながら最新技術を活用した放線菌研究で世界をリードしていきます。



**山村 英樹** 教授  
Hideki Yamamura  
2003年山梨大学大学院工学研究科博士後期課程修了。NITE、山梨大学工学部助教、生命環境学部准教授を経て、2024年より現職。専門は微生物分類学。

## フロウティラ統括責任者の黒澤理事にインタビュー！

### Q. フロウティラとは？

フロウティラ (Flotilla) を辞書で調べると、小艦隊とか小型艦艇部隊などができますが、比喩的には「行動を共にする集団」を意味します。志を同じくする研究者らが力を合わせて目標を達成するという、この新しい研究組織のコンセプトにぴったりのネーミングだと思っています。フロウティラは小さな研究組織ですが、いわゆる精鋭部隊です。将来的には、この分野の研究をリードする研究拠点となることを期待されます。

山梨大学甲府キャンパス S1 号館の2階に「フロウティラ」のスペースを整備しました。廊下の壁に「太陽」と「へび座」をモチーフとした絵(大村先生寄贈)が掛けてあります。是非、お訪ねください。



### Q. 薬剤耐性菌に注目した理由は？

薬剤耐性菌とは、抗菌剤が効かない細菌のことで、近年、増加の一途をたどっています。この状態を放っておいてはいけませんが、多くの製薬会社は収益性などのビジネス上の理由で新規抗菌薬の開発から撤退しています。大村先生はこのことを危惧され、「新規抗菌薬の開発」という研究テーマをご提案いただきました。大学の小規模な研究組織であるフロウティラが取り組むのにふさわしいテーマであると思っています。

### 黒澤 尋 理事 Hiroshi Kurosawa

2012年生命環境学部教授就任、2015年生命環境学域長(同学部長)、2023年より企画・内部統制担当の理事・副学長。研究分野は細胞培養工学、再生医学(組織工学)。フロウティラの統括責任者を務める。



## 北里大学大村智記念研究所

北里大学大村智記念研究所は、4年制の学部を卒業した学生が入学する大学院大学になります。この研究所は、土や植物、なんと冬虫夏草や昆虫、ナマコやサンゴ、全国各地の海水や数千メートルの深海から微生物を探し出して、人や家畜の医薬品や自然に優しい農薬、さらには化粧品や研究に必要な試薬までを創り出しています。学部や修士・博士課程の学生のみでなく、多くの企業から研究者が来て一緒に研究しており、大学の研究所としては世界のトップクラスの活躍をしています。



令和7年度  
スタート!

# 全学共通教育科目の新カリキュラム

全学共通教育科目が令和7年度から大きく変わります。その内容について紹介します。

全学共通教育科目  
新カリキュラムイメージ図

それぞれの科目で習得した知識やスキルが基礎となって、創発PBL科目群の授業が知識の活用・統合の場となる様子を見立てています。

令和7年度開始の新しい  
全学共通教育科目群



## 全学共通教育改革とは?

世界的な情勢不安の拡大、急激な少子化の進行、AIの台頭などによって予測不能な時代が到来し、社会が大学に求める役割が大きく変わつつあります。従来のような座学中心の専門知識伝達型教育だけでは、この大きな時代の変化に対応できないことから、協調して問題を解決する力を養うために世界中の大学で教育改革が進められています。

山梨大学では、論理的・批判的な思考力・共創協働による問題解決力・生涯にわたって主体的に学び続ける力を養うための教育改革、個々の学生に寄り添った学習支援環境の提供による学びの個別最適化の推進、学習者主体の教育への転換、ますます進むグローバル化へのさらなる対応などに向けて、令和7年度以降の入学生を対象にした全学共通教育の全面刷新を行います。この新しい全学共通教育では、文理を問わず分野横断で問題解決に取り組む創発PBL科目群の新設や、卒業後に実りある豊かな生活をするためのキャリア教育・消費者市民教育科目の必修化、グローバル時代に輝くための英語教育の強化、ビッグデータ・AI時代に必須のデータサイエンス・AIリテラシー教育など、本学の卒業生が今まで以上に輝き活躍するために様々な工夫をこらした教育を企画しています。この新しい全学共通教育科目により、時代に対応した先進的な教育を受けた学生が地域の中核として世界で活躍できる人材となって羽ばたくようになることを期待しています。



## 中村学長からのメッセージ

全学共通教育改革は、さまざまな本学の取り組みの中でも最重要課題であり、特に力を入れなければならない取り組みです。全体像を俯瞰して捉えるために、人文科学、社会科学、そして自然科学等、広範なリベラルアーツを学んでこれからの人生に活かしていくことが重要です。

今後の共通教育は、大学生の人材育成だけでなく、地域の課題を捉え探求していくリカレント教育、あるいはリスキリング教育においても、文理融合した思考を促す重要な教育の機会として位置づけられていきます。

本学の共通教育の改革は、新しい時代に対応した魅力的な全学共通教育の創出にしたいと考えています。



## 何が変わるの?

従来の全学共通教育科目を6つの科目群に再編します。特に、現行の教養教育科目を再編する「学術科目群」と新設の「創発PBL科目群」が大きな変更です。

教養教育科目

### 学術科目群

困難な時代を生き抜き、社会をより良くする力を身につける

ポイント

4つの文理横断型テーマ(人間と文化・環境と人間・産業と社会・平等と公正)ごとに、様々な科目を履修します。

人間形成科目

### ライフスキル科目群

心身ともに健康な生活を送るための基本的な知識とスキルを身につける

ポイント

「ライフデザイン」では、キャリア意識を高めます。「消費者市民社会を生きる」では、倫理、リスク管理、資産形成など生活を営む上で必要な知識を身につけます。

語学教育科目

### 外国語科目群

英語教育の強化、選択外国語教育を通じた異文化理解の促進

ポイント

「実用英語」では、英会話セッションやEラーニングでの個別学習やTOEICテストに取り組みます。

新設

### 創発PBL科目群

### 情報・数理科目群

### 啓発科目群

科目の紹介

## 創発PBL

新カリキュラムでは、創発PBLという新たな共通科目を開設します。学術科目群・外国語科目群・ライフスキル科目群は皆さんが社会で生きていくために必要な知識の習得が主眼に置かれますが、創発PBLは様々な学部学科の学生が同じクラスとなって各自が習得した知識を持ち寄り、多様な感性や考え方を交え磨いて、自分の人生で「どう活かすか」を学ぶ科目です。

全新入生は8回の授業を1クォータとして1年間で全4クォータが必修のワークショップを行います。前半では自己理解からはじまり、調査や思考スキルの習得、論理的対話を通じた他者の尊重と意見の重要性を理解し、後半ではRPGのチームのようにメンバーの特性を活かしながら未来のロードマップを考え、ボードゲームを製作します。自分の夢を具現化するスキルを身につけましょう。



## 担当教員からのメッセージ

世界中の多くの人々がスマートフォンを手にして様々な情報に簡単にアクセスできるようになった現代ですが、これからの時代を生きていく皆さんには必要な情報を正しく選別し、信頼できる仲間と協働しながら新たなアイデアを生み出すことが求められます。創発PBLはそのために必要な能力を伸ばせるように綿密に設計しています。大学で学ぶ知識を活用して実践に活かすノウハウを身につけ、他学部の友だちもつくれる授業ですので毎回楽しみに受講してください!

生命環境学域  
大槻 隆司 准教授



# 堀口文

大学院総合研究部 教育学域 人間科学系  
芸術身体教育講座 准教授

専門分野 体育科教育、体操コーチング論、大学体育  
学位 修士(体育学)  
略歴 (高校卒業～現在まで)  
2008年 秋田県立秋田南高校 卒業  
2013年 筑波大学体育専門学群 卒業  
2016年 筑波大学大学院人間総合科学研究科 修了  
2018年～2023年 筑波大学体育センター 特任助教  
2022年 人間総合科学学術院大学体育  
スポーツ高度化共同専攻 入学  
2023年～ 山梨大学教育学域芸術身体教育講座



「やってみたい」ことに突き進んでほしいです。周囲から何を言われようと、本気でやればやるほど、その過程で得られる経験や人脈が財産になると思います！ラート競技を通じて「人との縁」の大切さを学びました。学生の時には気付きませんでしたでしたが、時間が経ってからとても実感しています。

## 幼少期の思い出

神奈川県で生まれ、中学3年生の夏休みまで過ごしました。幼少期から身体を動かすことが大好きで、テレビに映る日の丸を背負ったアスリートに憧れ、当時の夢はオリンピック選手になることでした。「毎日運動会だったらいいのに」という発言で、あまり運動が得意ではない母を驚かせたこともありました。

足が速かったので、中学校では陸上部に入り、100mハードルを専門にしていました。その後父親の転勤で秋田県に移り住み、高校生になってからは何か新しいことを始めたいという思いからバドミントン部に所属しました。毎日、疲労困憊になるまで部活に打ち込み、秋田県で3位になり東北大会まで出場

しました。しかし、インターハイ出場という目標にはあと1歩というところで届かず、とても悔しい思いをしました。バドミントンでトップを目指すには高校生から始めたのでは遅く、小さな頃から競技をしている選手には勝つことができませんでした。

## 学生時代の思い出

大好きなスポーツを学ぶため、高校卒業後は筑波大学の体育専門学群に進学しました。バドミントン部にも誘われましたが、「みんなが大学生から始める競技で日本代表を目指したい!」と思っていたので、他の部活を探していました。そんなある日、授業で「ラート競技」と出会いました。先生の「日本代表になりたい人は是非!」という言葉

に「これだ!」と運命を感じ、それからラート三昧の学生生活でした。毎日あいている時間は全てラートの練習に注ぎ込み、3年生の時に念願の日本代表になり、世界選手権に初出場しました。その後も翌年の世界大会では団体戦で銀メダルを獲得、その翌年には個人戦で銅メダルを獲得、またその翌年には団体戦で優勝することができました。次の最大の目標は世界選手権での個人戦での優勝でした。

そこで、大学院に進学後も競技を続



ドイツ留学中

け、更なる競技力の向上のために、ラートの本場ドイツへ単身で留学しました。とても刺激的で充実した日々を送り、ドイツを発つ日に、ホームステイ先だった当時のラート競技ドイツ代表のヘッドコーチのイネスさんから、「この滞在であなたが学んだ一番大切なことは、勉強しなければすぐに忘れてしまうようなこと(ドイツ語)ではなく、人との縁だ」と言われたことを強烈に覚えています。今でも彼女とはドイツ語で連絡を取っています。

順風満帆から一転、留学からの帰国直後にアキレス腱断裂の大怪我を負って、非常に苦しい時期も過ごしました。良いことも悪いことも経験した学生時代でしたが、その裏では本当にたくさんの人に支えていただきました。怪我をしたことで、より一層人との縁を大切にするようになりました。

そして大怪我から8年後の2022年、ついに世界選手権の個人戦で優勝することができました。表彰式後に、イネスさんが真っ先に私の元に来てくれて、喜びを分かち合った瞬間、がんばって本当に良かったと、心の底から思いました。



2022年世界選手権優勝時イネスさんと記念撮影

## 現在の先生の研究について

現在、博士論文を執筆中です。テーマは「大学生の運動習慣形成プログラムの開発」で、学生の皆さんの運動習慣を分析し、生活の中に運動を取り入れてもらうための効果的な方法を探っています。私自身が大学に入ってから、学部の特徴もあり、私も含めて周りの友人も運動好きばかりでしたが、教員になってから、運動に苦手意識がある学生さんにたくさん出会いました。「この学生たちは大学の体育を最後に運動をしなくなってしまうかもしれない」という危機感から、この研究を始めました。

大学生の生活習慣は他の年代と比べて著しく悪化することや、大学期に確立された身体活動パターンは長期にわたって維持されることがわかっているので、健康な人生を過ごしていくために、大学生のタイミングで運動習慣を身につける経験が大切だと思っています。特に、運動が苦手な学生が楽しく受講でき、さらに運動習慣を身につけられるプログラム開発を目指しています。明確に成果が出ている学生もいて、とてもやりがいがあります。

また、運動学という分野で、自身のラート競技の技についても研究を続けています。運動の「コツ」や「感覚」という、とても抽象的な概念を言語化していく分野で、奥深く楽しいです。例えば、「何となくできていた」技や動きについて、「つま先に重心をかけながら腕を伸ばすのがポイント」といったように言語化ができると、技の再現性を高めることができずし、コーチングにも非常に役立ちます。

## 現在の夢や目標

山梨大学に勤めて1年が経ち、少しずつ仕事のリズムを掴めていると感じています。今年度からは、初めてゼミ生の卒業論文を指導するなど、さらに自分自身を高めていこうと決心しています。

この紙面が発行される頃にはオランダで開催される、第16回世界ラート競技選手権(7月28日～8月4日)に出場します。前回は私の得意な「直転」という種目で念願の初優勝を果たし、今回は連覇を狙います。ライバルは多く、過去の優勝経験者が私も含めて5人も出場するという、前例の無い激戦が必至です。そんな中でも、私が最も大事にしたいのは「自分の力を出し切ること」。これこそが結果を残す最善策だと思っています。

帰国後は、すぐに博士論文の執筆や業務に気持ちを切り替える予定です。このように、夢というより直近の目標に向かって、体はもちろん、頭もフル回転させる日々が続いていて、とても充実しています。



ラートの練習の様子

## 世界大会の金メダルとトロフィー

右から2つは2014年の世界大会の団体戦で、ラート発祥国のドイツを破り日本が初優勝した時のトロフィーと金メダルです。左は2022年に種目別「直転」でアジア人として初優勝した時の金メダルです。様々な壁を乗り越えて頑張ってきたことを証明してくれる宝物です。そして何か辛いことがあったときも、これを見ると「私はまだまだ頑張れる」と思わせてくれます。

ラート競技とは…「ラート」というと日本ではまだ耳慣れない言葉ですが、世界、特にヨーロッパでは非常に人気のあるスポーツの一つです。熟練者の高度な技術の演技とともに、身体・精神障害者に対するスポーツとしても行われ、ドイツ・オランダを含め18カ国の数々の障害者のための施設でも指導されています。また、子供から大人まで誰もが簡単に、三次元の回転ができるため、生涯スポーツとしても高く評価されています。

あおいくま(焦らない・怒らない・威張らない・くさらない・負けない)

私の宝物 MY TREASURE

# 皮膚科学講座

医学部

教授  
川村 龍吉

1990年山梨医科大学医学部  
(現：山梨大学医学部) 卒業。  
順天堂大学医学部免疫学講座、  
米国立衛生研究所、山梨大学  
医学部皮膚科学教室准教授な  
どを経て、2017年から現職。



皮膚科学の全ての領域の知識・技術を  
楽しく学べる環境が整っています。

## 皮膚科学講座とは

山梨大学医学部皮膚科学講座は、1983年に前身の山梨医科大学に皮膚科学講座が開設されたことから始まりました。2002年に山梨大学と統合され、現在は山梨大学医学部として運営されています。

私達の講座では、県内の症例が集まってくるゆえ、老若男女、全身の様々な皮膚疾患の診断から先進医療、外科的治療まで、非常に広範な領域をカバーする責任を担っており、皮膚科学の全ての領域の知識・技術を楽しく学べる環境が整っています。

## 患者様のQOLを上げるために

皮膚疾患によっては全身に影響するものも多く、診療においては幅広い知識と技術が求められます。附属病

院では専門外来を設置してきめ細やかなケアを提供しているほか、近年は他科やクリニックとの連携を強化してきました。長期的な治療を受ける患者さんを包括的に診て、QOL (Quality Of Life : 生活の質、と訳されることが多いですが私たちの人生の満足度と解釈されます) を上げるためのチームワークを推進しています。

## 日本皮膚科学会での受賞歴も

また当講座は開局以来、臨床と研究の両方に精力的に取り組んできました。薬疹、アレルギー性疾患、感染症、皮膚腫瘍などに関する研究が盛んに行われており、HIVの初期感染機構の解明やアレルギー性疾患における樹状細胞の役割、メラノーマの新たな免疫機構の開発、亜鉛不足が細胞外におけるATPの蓄積、およびATPの分解産物であるアデノシン

の減少を引き起こすことを明らかにするなど、多くの研究成果をあげて世界をリードしてきました。2013年、2022年には当講座メンバーが、国内の日本皮膚科学会で最も権威がある賞を受賞(2013年 川村龍吉、2022年 木下真直)しています。

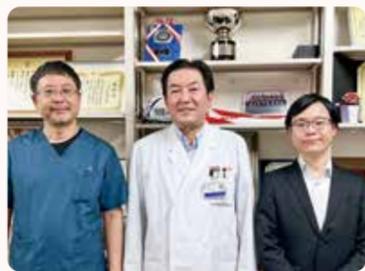
## 目指すは フィジシャンサイエンティスト

私達が目指すのはフィジシャンサイエンティストであり、これは医師として臨床業務を行いながら、同時に臨床研究や科学的探究を行う専門家のことを指します。当講座メンバーはそれぞれのリサーチマインドを持ちながら、日々の診療と研究に取り組んでいます。

目の前の患者さんを救いたいという思いが科学を一步未来に進める、熱い志を持った仲間を募集しております。



講座の教員は国内外の学会で積極的に発表  
(写真は前島えり臨床助教)



(左から) 小川 陽一講師、川村 龍吉教授、  
木下 真直学内講師



カンファレンスの様子

pick up  
Lesson #36

講義紹介

# 食 物 学 概 論

食物の栄養性・安全性・嗜好性に関わるあらゆる理論や手法を学びます

本講義は実験・実習の  
基盤となります



調理実習の集合写真

担当教諭



教育学域  
生活社会教育講座  
准教授 今井 千裕

Chikako Imai

## 食物学概論で学ぶこと

食物学概論は、学校教育課程の家庭科授業における食生活教育を行う上で重要である、食物に関する基礎的な知識を身につけることを目的としています。本講義ではまず、「食物とは何か」という問いから食物学についての理解を始めます。食物とは字の通り「食べ物」のことですが、「食べられる状態にした物」といったニュアンスを含みます。食材を入手し、場合によっては保存や加工・調理などをして、初めて口に入る状態のもの(=食物)となるのです。そしてその食物は、我々人間にとって「栄養があること」「安全であること」「おいしいこと」という三つの条件を満たしている必要があります。食物を摂取するという行為において、栄養があることは生命維持に必須であり、食することで健康を損ねることがあってはいけません。また食物を「おいしい!」と感じることは、栄養を得ることと同等に、人間にとって非常に重要な意味を持っています。本講義は、個々の食材が食べられる状態の物になるまでの過程における、

栄養性・安全性・嗜好性に関わるあらゆる理論や手法を学ぶ講義です。

## 本講義での学び方

家庭科の授業の中で、特に調理実習が記憶に残っているという人は多いのではないのでしょうか。学校での調理という非日常の中で、友人たちと料理を作り上げるといった経験は、調理技術の習得以上に、子どもたちの食に対する興味・関心を高める効果があると考えられます。本講義を受講している学生は、子どもたちの食の自立に資する授業を実践する力をつけるべく、家庭科の授業で扱う内容を軸にさまざまなことを学びますが、講義内では「実際にやってみて理解する」ということを重視しています。例えば、栄養素の種類や働き、献立作成の方法を学ぶ際には、子どもたちの実生活に活きる授業の工夫を学生同士で話し合う活動をしています。さらに調理実習においては、子どもたちの視点で調理に取り組むと同時に、教員目線で実習全体を俯瞰するなど、実際に自分たちで経験し考察する学びを取り入れていま

す。またそれに加えて、信頼性のあるデータやエビデンスに基づいた知識に多く触れ、重要性を理解することで、自信を持って授業を展開することができる力をつけていくことを目指しています。

## 他の講義との連続性

本講義は、履修後に受講可能となる食物学実験や調理学実習を行っていく上での入門編という位置づけです。食品の安全で衛生的な取り扱いや、栄養性・嗜好性向上といった効果を最大化するための調理理論などを、調理や比較実験を通して実感するとともに、食物学概論で得た知識をアウトプットすることで、食物学に関するより深い理解を促します。



グループワークの様子

# CLOSE-UP

## 大学で出会った南極研究！ 南極に行くことを目指して頑張っています！

### 山梨大学を選んだ理由は？

ひとりで動物園に通うほど動物が大好きで、生態系や環境について学びたいと考えていたところ、塾の先生から山梨大学生命環境学部が合っているのではとすすめられました。地元で通いやすいこともあり、進学を決めました。

### 大学に入ってみてどうでしたか？

勉強するうちに興味のあることが変わり、ゼミを選ぶときに、南極で研究できるゼミに会い、南極や先生の研究分野に興味を持ちました。今は大気について学んでいます。学生が2人の少人数のゼミなので、先生との距離がとても近いところが魅力です。高校では教室で授業を受けることが多かったのですが、大学では河川・臨海実習などのフィールドワークを泊りで行うことも多く、実践的に学ぶことができるので楽しいです。



フィールドワークの様子

### 休みの日はどのように過ごしていますか？

実家のシャインマスカットづくりを手伝っています。幼いころから祖父が畑仕事をしているのを見ていたため、自分もやってみたくて思っていました。愛情を注げば注ぐほどその通りに育ってくれるので、収穫時期にきれいな形のブドウに成長してくれていると、大きな達成感があります。



畑仕事

また、夏休みや春休みには、全国を電車で旅しています。北は稚内（北海道）から南は枕崎（鹿児島県）まで行ったことがあります。就職するまでに47都道府県を制覇するのが目標です。

### 今、頑張っていることを教えてください！

大学院へ進学して、ゆくゆくは南極へ研究をしに行くことを目指し、その準備を進めています。体力づくりのために週2でジムに通いながら、先行研究の論文を読み込んだり、基礎知識の勉強をしたりしています。

### 受験生にアドバイスをお願いします！

自分が大学で何を勉強したいのか、将来何をやりたいかを第一に考えて大学を選んでほしいです。入学してから自分のやりたいこととギャップがあるとモチベーションも上がらないので、高校生のうちに興味のあることを見つけてみてください！



ゼミの研究分野である南極の蜃気楼と冰山



ゼミの研究分野である南極の地吹雪の朝

生命環境学部 環境科学科 4年生  
(山梨県出身)

志村 優太

ゼミで興味を持てることに  
出会いました！

# PEOPLE

クローズ  
アップ  
ピープル



## ものづくり一直線！ 自動車メーカーの技術者を目指して頑張っています！

### 山梨大学を選んだ理由は？

中学生の頃から車やバイクなど身近にある機械に興味を持ち、ものづくりに携わる仕事がしたいと思い、高等専門学校（高専）に入学しました。高専に入学した当時は就職を考えていたのですが、将来やりたいことを考えたときに、大学院まで進学し専門知識を身につけたいと思い、山梨大学工学部への3年次編入を決めました。

### 大学に入ってみてどうでしたか？

山梨の有名な産業であるワインや宝石について学ぶ授業や、実際にワインを製造する実習などがあります。専門科目のみならず、一般教養科目も豊富なのところが魅力的でした。

### サークル活動や課外活動を教えてください！

学生フォーミュラ部に所属しています。学生フォーミュラとは、小型のレーシングカーを自分たちで企画・設計・制作し競い合う大会です。コストからマシン



学生フォーミュラ大会 集合写真

の走行・燃費性能まで含めた「ものづくりの総合力」が鍛えられます。また、ゼロからレーシングカーを制作するので、資金面や技術面をスポンサー企業の皆様にご支援いただいています。平均1人約4社の企業様とメールや対面でやり取りし、企画書や活動報告書を用いて支援の相談・お願いをしています。名刺交換など、ビジネスマナーを学ぶいい経験になりました。大変なこともありましたが、技術者として成長することができたと感じています。

### 授業以外で印象深い思い出は？

高専の友人と参加したHondaエコマイレージチャレンジ(50ccのエンジンを使ってマシンを作り、燃費を競う大会)で入賞することができ、本学の学生表彰もいただいたことです。エコマイレージチャレンジへの参加は3年次のPBLものづく



Honda エコ マイレージ チャレンジ 入賞

り実践ゼミという授業でも行っています。ものづくりに興味がある高校生は、大学入学後に挑戦してほしいです。

### 今、頑張っていることを教えてください！

大学院入試の勉強を頑張っています。将来は国内の自動車メーカーで設計・開発に携わる技術者になりたいので、修士課程で自分の研究テーマを深めたり、国際学会での発表に挑戦したりしたいです。

### 受験生にアドバイスをお願いします！

私は5年制の高専を卒業後、山梨大学に3年次編入しました。大学の編入試験は、大学ごとに日程や試験方法が大きく異なります。過去問を集める、試験科目の似た大学を併願するなど、周りに相談しながらよく検討すると良いと思います。

自分の趣味や好きなことから、将来何になりたいか、どういうことをしたいかを考え、そのために必要な資格や学歴を調べることで、今勉強する意味が見えてくると思います。頑張ってください！



ハブの圧入

工学部 機械工学科 4年生  
(長野県出身)

玉井 志穂

将来は国内の自動車メーカーで  
設計・開発に携わる技術者に！

撞球部(ビリヤード)

甲府キャンパス



遠征時の様子



体験会の様子

気軽に、自由に活動できる！  
一緒にビリヤードを始めてみませんか？

山梨大学のキャンパス内でビリヤードができることを知っていますか？

私たち撞球部(どうきゅうぶ)はビリヤードを活動内容としています。特にここ山梨大学の撞球部はキャロムビリヤードと呼ばれる穴のないビリヤードを日々練習しています。学校内にビリヤードの台があると聞いたら驚く人もいかもしれませんが、学校内には台が2つあり、簡単にビリヤードを練習することができます。

普段はLC号館1階の談話室で活動を

行っているのですが、カレンダーの情報共有アプリを用いて、自分が練習したい時間を書き込み、平日は17:00~20:00、休日は9:00~17:00の間で自分の好きな時間にビリヤードをすることができます。

正直ビリヤードなんてやったことないけど、できたらカッコいいなあとか、せっかくの大学生活だし、新しいことはじめてみたいなあ、なんて考えている人いませんか？ 撞球部の部員たちも大学生になって

からビリヤードを始めた人がほとんどなので、大学生になって新しいことを始めてみたい人にもおすすめです。また、ビリヤードは1人でも練習できるため、自分の好きな時間に練習をすることができ、アルバイトへ行く前の合間時間に少しだけといった活動もすることができます。

そうは言ってもやっぱりわからないから不安……。といった方も一度気軽に体験しに来てみてはいかがでしょうか？

X(旧Twitter)やInstagramでも普段の活動を知ることができるため、ぜひチェックしてみてください！

- DATA -
- 部員数 : 18人
  - 活動場所 : 山梨大学L号館C棟1階 学生談話室
  - 活動日 : 不定期
  - 公式 SNS : X @doukyubu @doukyubu

ギタークラブ

甲府キャンパス



月末の部内発表会



夏合宿でのBBQ

好みに合わせて自由に練習！  
一緒にギターを演奏しませんか？

ギタークラブでは、アコースティックギターを中心に、ソロギターやデュエット、弾き語りを演奏しながらまったり活動をしています。演奏する曲も部員によって様々で、各自の趣味・好みに合わせて自由に練習しています。サークルとしては、おおよそ月末に開催する部内発表会をメインに、他にも夏には泊まり込みの合宿、冬には定期演奏会など、部員同士の交流・発表の場を企画しています！

当サークルでは、ほとんどの部員が初心者からのスタートであり、一緒に学び合いながら練習しています。未経験者には壁が高く感じてしまいがちですが、部室には貸出可能なギターもあるほか、先輩たちが親身になって教えてくれるので、初心者の方でも安心して一から始められます！そうした点からもギターをはじめやすい環境が整っていると思います。経験者の方ももちろん大歓迎です！

今まで興味はあったけどなかなか手が出せなかったという人、音楽が好きだという人、皆さんの大学新生活をギターで彩ってみませんか？

X(旧Twitter)、Instagramにて公式アカウント(@nashigita)で情報を随時発信しているので、ぜひ一度アカウントを覗いてみてください！公式アカウントのフォローもよろしくお願いします！

- DATA -
- 部員数 : 26人
  - 活動場所 : 山梨大学音楽棟1階2階 練習室
  - 活動日 : 毎週月、水、金曜日
  - 公式 SNS : X @nashigita @nashigita

医学部アイスホッケー部

医学部キャンパス



OBOGの方々との集合写真

初心者大歓迎！  
一緒に練習して一緒に上手くなりませんか？



シュートシーン

- DATA -
- 部員数 : プレイヤー 38人  
マネージャー 12人
  - 活動場所 : 小瀬スポーツ公園  
アイスアリーナ
  - 活動日 : 毎週月、金曜日
  - 公式 SNS : @nashii.icehockey  
X @BANDITS\_YMU

「アイスホッケーは観戦したこともなければ知り合いに経験者もない、一番想像がつかないスポーツだ」と思っている方も多いかもしれません。全身を覆う防具や氷上でパックを奪い合う動画を見て、激しいイメージを持たれている方もいるでしょう。たしかに、そのようなパワフルで激しいスポーツの側面もありますが、アイスホッケーの一番の魅力はスピード感にあります。スケートは走るより圧倒的にスピードが出るので、そのスピード感は団体スポーツNo.1

で間違いありません。そのため、瞬時の判断や細かい戦略、コンビネーションで試合展開が大きく変わるので最後まで飽きない面白さがあります。

それを聞くと自分にアイスホッケーは難しいと思うかもしれませんが、そんなことはありません！大学のアイスホッケー部はそのほとんどが初心者から始めています！私たち山梨大学医学部アイスホッケー部もプレイヤー38人の大所帯ですが、経験者は1人もおらず、みんなで1年生の頃から一

緒に練習して一緒に上手くなって試合に出ています！主な大会は東日本の医学部が参加する東医体ですが、昨年の東医体で念願のリーグ昇格を果たして今は波に乗っています！

練習すればするだけ上手くなる。緻密に戦略を考えれば必ず強くなる。努力が上達に直結する最高の経験を大学で体感しませんか？

普段の活動はInstagramでアップしているのは是非チェックしてみてください！

救急医療サークル 富士救

医学部キャンパス



集合写真

資格の勉強もできるサークル！  
一緒に救急を学び合いませんか？



救命処置の練習

- DATA -
- 部員数 : 30人
  - 活動場所 : 附属病院内  
シミックホール
  - 活動日 : 月2回(不定期)
  - 公式 SNS : @emcy.fujiky

富士救は救急に関する実技を交えた実践的な勉強会を行う、今年3月に正式発足した新進気鋭の団体です！

どんなサークル？

全国BLS選手権やメディカルラーなどの競技会での優勝を目標に掲げ、月2回程(自由参加)の勉強会を行っています。部員には他大学の看護科1年生も多数所属しており、学年学科・大学を問わず救急への興味があれば誰でも気軽に参加できる救急サークルです。

何をやるの？

富士救の活動では、学年の隔てなくお互いに教え学び合う姿勢を大切にしています。特に学生の内は実際の手技に触れる機会がまだまだ少ないため、自身で手技について発表することでそのための勉強や準備を通じて知識や技術を深く身につけることができます。もちろん先輩が全力でサポートします！

富士救は附属病院救急部や地域医療学・総合診療学講座よりご支援いただきながら活動しており、通常の授業では扱

わない内容や機材を実際に使用した演習も行っています。また、各部員が興味を持った医療従事者向けの講習会に参加し、BLSやACLS、NCPRなどの資格の勉強や、そこで得た知識や技術の共有も行っています。

救急に興味がある方は是非一緒に活動しましょう！Instagramでの活動報告も行っているため、是非チェックしてみてください！皆さんの参加をお待ちしています！

NEWS & TOPICS  
1

山梨大学特色ある研究 PR 展示～グリア細胞研究～ 開催！

令和5年12月より、甲府駅北口ペDESTリアンデッキにおいて、本学の特色ある研究PR展示「世界の未来を創る研究、ここから」を行っております。  
この展示は、本学が実施している様々な国内トップレベルの研究について、その取り組みを県内外の方々に広く知っていただくとともに、地域社会とのつながりを深める機会となることを目指し実施したものです。  
今回、6月1日より、山梨GLIAセンター

監修のもと、近年脳の健康や働きにとっても大切な役割を果たしていることが明らかになってきた「グリア細胞」をテーマにした展示を開始しました。研究内容等を示すパネルのほか、子どもたちにもわかりやすくグリア細胞を伝えるため、今回新たに制作したグリア細胞の模型も展示しています。  
また、楽しくグリア細胞を学んでもらおうと、グリア細胞に関するスタンプ&クイズラリーも実施しておりますので、ぜひお立ち寄りください。(9月末ごろまで実施予定)



展示全体の様子



グリア細胞模型

NEWS & TOPICS  
2

令和6年度山梨大学・読売新聞連続市民講座「知る喜び～ひと・くらし・けんこう～」

本学では令和6年度も読売新聞甲府支局との共催で、「知る喜び～ひと・くらし・けんこう～」と題した全10回の連続市民講座を開催します。  
聴講無料。本学の教員が専門の分野を図解等用いてわかりやすく解説します。  
問い合わせ先  
山梨大学教務企画課連続市民講座担当  
電話：055-220-8043 FAX：055-220-8796  
koukai-kouza@yamanashi.ac.jp

開催日時・スケジュール 13:30～15:00(開場 13:00)

開催日	演題	所属	講師名
第5回 令和6年 9月21日(土)	ことばへの気づきワークショップ ～英語を通して気づく日本語～	教育学域	磯部 美和
第6回 令和6年10月12日(土)	スマート農業技術の導入 ～モモとサクランボを対象として～	工学域	小谷 信司
第7回 令和6年11月 9日(土)	燃料電池・水電解研究の最前線 ～環境に優しい社会に向けた地域連携～	工学域	内田 誠
第8回 令和6年12月21日(土)	免疫のしくみとアレルギー～わかりやすい超入門編～	医学域	中尾 篤人
第9回 令和7年 2月15日(土)	こころの健康考えてみませんか？ ～日常生活でできること～	医学域	坂井 郁恵
第10回 令和7年 3月15日(土)	人類は宇宙で繁栄できるか ～クローンとフリーズドライ精子～	生命環境学域	若山 照彦

※今後の状況により、開催方法等変更となる場合があります。

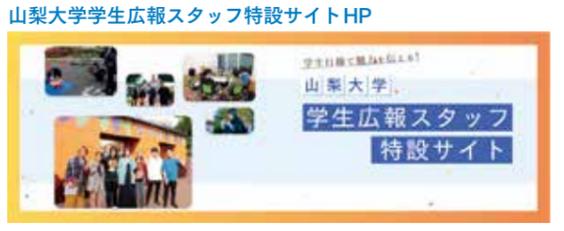
申込方法や詳細は、  
本学 HP で  
ご確認ください。



NEWS & TOPICS  
3

「山梨大学学生広報スタッフ特設サイト」を開設

令和5年10月に発足した学生広報スタッフのホームページ「山梨大学学生広報スタッフ特設サイト」を開設しました。  
学生目線で学生ライフや、学び、イベント、活動、留学・国際交流、キャリアについて紹介します。ぜひ、学生の活動をご覧ください。



NEWS & TOPICS  
4

本学オリジナルテレビCM & ミニ番組を配信中！

昨年度開始したテレビCM&ミニ番組の配信を今年度も継続しています。山梨県内テレビ放送局で放送のほか、本学公式YouTubeチャンネルでも公開しておりますので、ぜひご覧ください。(過去の放送もご覧いただけます)

動画はこちら



テレビCM「宇宙生殖学編」

ミニ番組「ナシダイブ～志望校選択・甲府キャンパス編～」

医療職を目指す方は採用サイトをチェック!  
Check Here!  
山梨共立グループの働き方がここに!  
recruitkyoritsu.com

山梨共立グループ採用募集中  
無差別・平等の医療で地域のニーズに誠実にこたえるプロフェッショナルを養成します。  
病院・職場見学やインターンシップも随時受付中!

5G時代を支える 通信用デバイスで明日を創る

住友電工  
デバイス・イノベーション  
SUMITOMO ELECTRIC DEVICE INNOVATIONS

山梨県中巨摩郡昭和町紙漣阿原1000  
(本社:神奈川県横浜市栄区金井町1番地) http://www.sedi.co.jp/

Orchestrating a brighter world NEC

あなたに身近な、甲府事業所で  
私たちは、NECの社会ソリューションをものづくりで支え、社会価値を創造しています。

甲府事業所って? 何を作っている?

NECプラットフォームズ  
https://www.necplatforms.co.jp/



# 山梨大学工学部創立100周年記念事業への協力をお願い

山梨大学工学部は、2024年に創立100周年を迎えました。この記念すべき年を新たな節目として、7学科から1学科（工学科）複数コースへ再編し、クリーンエネルギー化学コースや入学後に専門分野を決める総合工学クラスを新設するとともに、コンピュータ理工学コース定員の大幅増員、入試の女子枠の設定など新たな社会に貢献できる工学系人材育成のため、改組を行いました。

さらに、100周年の記念事業として、100周年記念ホールの建設や、東キャンパス中央東門の周辺環境を整備するほか、専用Webサイト開設や記念式典の開催など、様々な事業を展開する予定です。

現在募集しております「工学部創立100周年記念募金」により皆様から賜りますご寄附を、記念事業推進の礎とさせて頂き、学生の教育環境整備充実のために有効に活用させていただきます。何卒、皆様のご賛同とご支援を賜りたく心よりお願い申し上げます。

## 山梨大学工学部創立100周年記念事業特設サイト



特設サイト

### 1 用途

#### 山梨大学工学部創立100周年記念事業の実施

- 創立100周年記念ホール等の設置
- 中央東門と周辺環境の整備
- 記念式典の開催
- 記念ウィスキー・ワインの企画

### 2 目標額 3億円

### 3 お申し込み方法

Webサイトからのご寄附は  
こちらから



新規申込者登録

クレジットカード、コンビニエンスストア、各種金融機関ATM、Pay-easy、ネットバンクなどがご利用になれます。詳しくは、山梨大学Webサイト「工学域 学域等支援基金のご案内」にてご確認ください。寄附の種類は、「山梨大学工学部創立100周年記念事業」をご指定ください。



工学域 学域等  
支援基金のご案内

## 広報誌「Vine」のアンケートにご協力ください！

山梨大学では、広報誌の充実を目指し、皆様のご意見を参考とさせていただきたく、アンケートのご協力をお願いいたします。皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。

- ※抽選で10名様に大学のオリジナルグッズをプレゼントいたします。
- ※個人情報は厳重に管理し、他の目的、用途では使用いたしません。



抽選で10名様に  
大学のオリジナルグッズを  
プレゼント！

PRESENT

回答フォーム



アンケート回答締切 令和7年1月10日(金)

※当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



## 今号の表紙



今回の表紙イラストは、令和6年4月1日より、本学と北里大学とが連携し、微生物の活用から新薬を創出する新組織「大村記念微生物資源研究フロンティア」が発足したことに関連し、生命工学研究を行う学生の姿を、本学美術部の学生が描いたものです。

今回のVineもぜひ楽しんでご覧いただけますと幸いです。(広報・渉外室)

### 制作

山梨大学美術部所属  
工学部工学科クリーンエネルギー 化学コース1年  
上久保 暦さん

## 有料広告を募集します。山梨大学広報誌Vineに「広告」を出しませんか？

広報誌Vineは、毎年2回、全国の教育機関等に配布しています。ぜひ、貴社の広告、PR活動にお役立てください。詳しくは、本学ホームページをご覧ください。

## 山梨大学広報誌 ヴァイン

2024 Summer vol.45



本誌に関する  
ご意見・  
お問い合わせ

### 山梨大学総務企画部総務課広報・渉外室

☎ 055-220-8006 ☒ koho@yamanashi.ac.jp



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。